

粕谷和夫の観察日記。4月25日、八王子・浅川でジュニアクラブの探鳥会の一コマ。堤防の草にハムシがいました。子供達は虫を恐れず手のひらに乗せてくれました。5mmに満たない小さな昆虫で金属色に輝く虫で、ハムシの仲間です。

紅葉台



新聞

第241号

2026年

7月4日

発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



4月25日、八王子・浅川の河原のキジです。この日ジュニアクラブの探鳥会で八高線鉄橋から長沼橋までの約2kmの間の5か所でキジに出会いました。写真下はオスメスです。尾を上げてメスに近づくオスの躍動感が読み取れます。まじかに大型の国鳥に出合えてジュニアクラブの子供達も大満足です。

今の時期、春の野原や河川敷を、鮮やかな紫色のカーテンのように「ナヨクサフジ」が咲いています。「なよなよとしている」ことから「弱草藤」と書きますが、実際はヨーロッパ原産で飼料や緑肥として栽培していたのが野生化した生命力が強い外来者です。よく似た在来者のクサフジは秋に咲きます。この写真は4月25日、八王子・浅川の河川敷です。



4月28日、藤沢市の遠藤笹窪谷公園に行きました。来月の観察会の下見です。この公園は小田急江の島線湘南台駅から慶應大学行のバスで行きます。公園中央の田んぼにカキツバタが咲いていました。「いずれアヤマカキツバタ」といいますが、この花に最もよく似た花はノハナショウブです。ノハナショウブには、葉に筋(中肋)があって、カキツバタの方には中肋がないので、触ってみるとその違いがわかります。



4月30日、八王子・川口川の横の中田遺跡公園で小学校3年生の「みどりの学習」を支援しました。ケヤキが多く、芝生広場が広い公園で、ケヤキにツミが営巣していました。芝生広場ではシロツメクサ、アカツメクサが開花中でアカツメクサの群落の中でヤセウツボが咲いていました。葉が無く、自分で栄養を作れないヤセウツボがアカツメクサ(写真前面のボケている二つの赤い花)から栄養をもらって生きている仕組みを小3の児童に説明するのに苦労しました。



5月2日、八王子・片倉城跡公園にトチノキとベニバナトチノキの大木が2本並んで植えてあり、共に開花してしま

た。左の白い穂状の花が日本固有種のトチノキ、右の植木が紅花栃の木です。トチの花から採れる蜂蜜は日本の蜜源の王座を占めると言われています。

里子の道草ひとりごと

私は、子どものころから草花が大好き。野原で花を見付けると「かわいい花だな」「不思議な花だなー」と思っていました。だから、植物を見ると足を止め語り掛けたくくなります。そうするとたくさんの発見や気づきがあってとても面白いです。近くの片倉城跡公園は毎日の散歩コース。ここはいろんな草花が四季折々咲いています。道草しながらいろんな植物を愛で、ひとりごとをいう私と一緒に楽しんでいただけたら嬉しいです。



5月2日、片倉城跡公園の入り口に大きな池があります。その横にカザグルマが咲いていました。別名は「鉄線(てっせん)」が有名です。準絶滅危惧になっています。クレマチスの原種で形がカザグルマによく似ています。貴重な花を見付けるとヤッターと思います。一般的なヤセウツボが褐色から紫褐色をしているのに対し、キバナヤセウツボは、葉緑素をもたないアルビノのような形態で、全草が鮮やかな黄色をしています。珍しいウツボを見付けるとちょっとうれしくなります。湯殿川沿いで見つけました!



食堂 福まめ 麴を使ったヘルシーな食事



「心を満たす、街中の定食屋さん」(HP)
2024年12月にオープン。日本古来より伝わる発酵食品を調味料として積極的に取り入れた料理を提供しています。有機野菜や自家製の麴、豆腐や米粉を使ったスイーツ等体に優しいメニューがたくさんあります。手作り品仲間のブルーベンチさんの友人が開いたお店です。料金も1200円ほど。素材本来の美味しさを是非味わってみてください。

招き猫が店の看板になって皆さんをお迎えしています!!
八王子市八幡町1-18ビル治武1階
定休日：水・木曜日
時間：11時~18時



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。